

IP電話ガイド

IP電話とは、デジタル化した音声専用のIPネットワークでやり取りして、音声通話を可能にするサービスの事です。ブロードバンド回線に専用機器をつなぎ、そこに家庭用電話機を接続すれば、使い勝手はそのままに、電話代を大幅に下げられるのが魅力です。

IP電話でメリットを受けられる2大条件

ブロードバンド回線は大前提

IP電話にはADSLやBフレッツなどのブロードバンド回線が必須になります。通話料金が安くなるとはいえ、固定費も必ずかかります。IP電話にしたからといってNTT固定電話が不要になるわけではないので、基本料も引き続きかかります。電話だけしか使わないなら効果は薄くなります。

長距離・国際で効果大！

IP電話を利用するには月額基本料や機器レンタル料などで、500～600円程度余計にかかります。市内通話で元を取るには相当通話する必要があります。逆に長距離や国際を利用するならすぐに元が取れます。IP電話は長距離・国際電話を利用する人に最適なサービスです。

通話料差額(3分間の通話時)

IP電話	IP電話同士	0円
	国内通話	7.5円
	国際通話(アメリカ)	7.5円
一般 固定電話	市内通話	8.5円
	長距離通話(最大)	80円
	国際通話(アメリカ)	160円
携帯電話 (参考)	固定電話	70円
	携帯同士	100円

IP電話のできる事と、できない事

110番/119番 0120などへの 発信

110、119、115、104、106など3ケタ番号サービス、0120、0570などにはかけられない。これらにかける場合には自動的にNTTの固定電話から発信する。

発信者の 番号通知

IP電話にかける場合は通知できるが固定電話にかける場合は通知できない。BBフォンは固定電話にかける時も通知できるが、一部の地域は通知できない。携帯電話/PHSにも通知できない。

固定電話からの 着信

現時点では固定電話からIP電話に電話をかけられない。固定電話から着信できるようになるのは今年夏以降になる。

ファックス

回線の混雑状況によって送信できない場合があるため、プロバイダーによっては正式サポートしていないケースがあるが、多くの場合は問題ない。

携帯電話/ PHSへの 発信

BBフォンなど一部で利用可能。技術的な問題ではなく、通話料金をどうするかという枠組みが決まっていないため。

キャッチホンなど NTTの 付加サービス

キャッチホンやナンバーディスプレイなどはNTT東西が固定電話向けに提供しているサービスで、IP電話では利用できない。

IP電話サービスで無料で通話できる範囲

NTTコミュニケーションズ系 ●@nifty ●BIGLOBE ●So-net ●OCN ●Panasonic hi-ho ●ASAHIネット

●DreamNet ●SANNET ●T-com/TNC ●DTI(予定) ●デオデオエンジョイネット など

KDDI、日本テレコム、パワードコム系 ●DION ●ODN ●POINT ●BIGLOBE(予定) ●Panasonic hi-ho

●ASAHIネット(予定) ●SANNET ●U-netSURF(予定) ●デオデオエンジョイネット ●InterQ MEMBERS(予定) など

ソフトバンクBB フュージョン・コミュニケーションズ系

●Yahoo! BB

●BIGLOBE ●FUSION GOL など

ぶららネットワークス、NTT-ME系

●BIGLOBE ●ASAHIネット ●WAKWAK ●BB.excite ●InterQ MEMBERS ●livedoor ●ReSET.JP など

編集者より：現時点のIP電話は固定電話からの着信ができないため、いまいち使い勝手がよくありません。導入を考えるなら、固定電話からの着信ができるようになってからがよいでしょう。(田中)